

心の城

第121号

平成27年12月17日

蓮本幽径

小矢部市観音町4-6
石動中学校PTA広報部会

平成27年度 学習発表会

10月24日(土) 合唱コンクール

10月25日(日) 時塔祭



● 目次 ●

PTA講演会「情報化社会と家庭教育の役割」	2・3P
時塔祭バザー報告	4・5P
親を学び伝える学習プログラム(1学年部会)	6P
保護者登校日・小矢部市教育委員会への要望事項	7P
親子清掃・地域安全大会・PTA備品購入・部会員紹介・編集後記	8P



育成過程における子供の接し方

情報化社会と家庭教育の役割

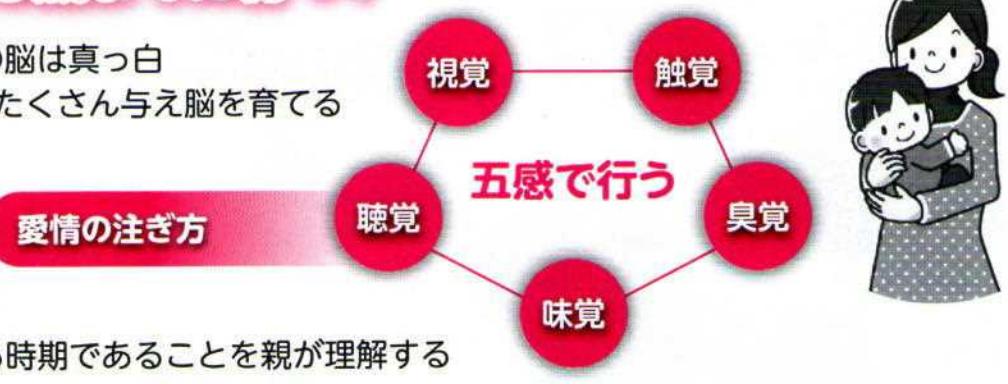


ライフデザイナー 野村 乙美 先生

平成27年11月21日(土)、元カネボウ化粧品執行役員で、人材育成一筋に会社経営に携わった野村乙美先生をお招きし、「情報化社会と家庭教育の役割」について講演をいただきました。

① 脳の8割は3歳までに育つ!

生まれた時の人間の脳は真っ白
幼少の頃は、愛情をたくさん与え脳を育てる
ことが大切。



② 人間のもつすべての能力の基本は6歳までに育つ!



③ 「認められたい」「人の役に立ちたい」という心は 12歳までに育つ!

子供が主体となって
家庭内ルールを作らせると成長が促される = 子供の意志や意見を認める

この時期にやらなければならない家庭でのしつけの三基本

- ① あいさつ 相手に体を向けて目を見てあいさつする。 ⇒ コミュニケーション能力 アップ ↗
- ② 返事 「はい」と返事ができる。 ⇒ 話を正確に聞く能力 アップ ↗
- ③ 始末 自分のことは自分でする。 ⇒ 自主性と責任感 アップ ↗

④ 中学校・高校では社会とはどんなものかを教えることで 社会性が育つ!

社会性が育つと ⇒ 将来を自分で展望する。



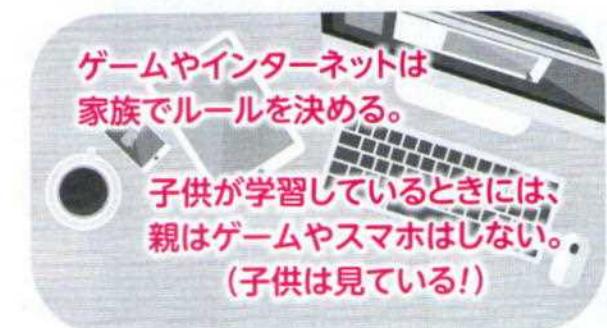
- ☆ おしゃれに対する自己表現の芽生え
- ☆ 自分とちがう感性をもっている人を認め、受け入れる。
- ☆ 人と人の間で生きるのが“人間”…一人では生きていけない

⑤ 情報化社会といえども家庭教育の役割は不变!

家族で地域の活動に参加し、社会性を身に付け、社会への旅立ちの準備をする。

☆社会人としての自立三原則

- 生活的自立 … 明るく前向きに過ごし人生を謳歌する
- 経済的自立 … 衣食住を当たり前に行う
- 精神的自立 … 道徳・倫理感



- まとめ
- 母親はしつけを教え、父親は社会性を教える。
- 脳の発達に沿って、子育てがスムーズにできることを理解する。
- 子供は家庭で育て、学校で鍛え、地域で磨く。(石中PTA基本理念)



広報部会でお話を伺いました。

講演会を開催して

野村先生には情報化社会において保護者は子供の教育について考え、家庭の中で何ができるのか、また何をすべきか、子供の育成という観点からお話しいただきました。今まで、このようなお話を聞く機会がなく、今回、家庭教育のあり方を考えることができ、大変よかったです。自分の子育てとの違いが分かって、これから子育ての参考にしたいと思います。たくさんの方々に参加いただきありがとうございました。 保健厚生部会長 水上 拓也

たくさん
売れたね!

10月1日 食券集計作業



当
日



時塔祭バザー報告

10月8日 協力者説明会



ま

焼きそばコーナー
責任者 石田 剛久

このコーナーに携わり3年目、「TEAM焼きそば」は、短期間で屋台のセミプロ集団に進化しました。



10月20日 遊休品仕分け作業



準

撮られて
るう~!



....
(真剣です)



10月24日 会場準備



ポップコーン
マシーンに
釘づけ



お・も・で・な・しの
心も忘れません

皆様への
お礼

今年も新メニューをいくつも入れたところ、多くの皆さんにバザーをご利用いただきました。バザーの収益金185,798円は、子供たちのために記念品として学校に贈呈する予定にしています。

また、今年も東日本大震災において被害に遭われました、東松島市の皆様への「東松島市災害支援募金」を募りましたところ、8,050円の募金を集めることができました。皆様の善意は、先日、東松島市の皆様にお届けしました。

ありがとうございました。

TEAM焼きそばは
テント設営から



バザー部 会長 垣田 敏

5月よりバザー活動を開始しました。生徒の皆さんに喜んでいただきたいという意見から、メニューを増やし、天ぷらうどんやキャラメルポップポーンなど新メニューにも挑戦しました。お手伝いいただきました生徒の皆さん、先生方、PTAの皆様、本当にありがとうございました。



人気
メニュー
ベスト5

- | | | |
|----|------------|------|
| 1位 | フライドポテト | 357個 |
| 2位 | きつねうどん | 328杯 |
| 3位 | チョコバナナクレープ | 252個 |
| 4位 | 天ぷらうどん | 187杯 |
| 5位 | 米粉ロール | 182個 |
- (前売券・当日券の合計数)

ウェイトレス・ウェイターコーナー 責任者 岡本 貴子

協力者みんなで意見を出し合って一つになれた事がとてもよかったです。協力してくれた生徒さんにも感謝します。



喫茶コーナー 責任者 吉江 公伸

チョコバナナクレープとワッフルが人気で、当日券も完売してしまいました。

買えなかった人、ごめんなさい!でも子供たちの笑顔に、嬉しくなりました。



遊休品コーナー 責任者 小川 名月

みなさん、楽しそうに品定めをして、買っていただき、お陰様で、約120個を完売することができました。



満員御
礼

うどんコーナー 責任者 大野 秀樹

今年のうどんコーナーは「天ぷら」と「きつね」の2種類でした。

皆さんに好評いただき、作業も楽しくスムーズに行えました。

売店コーナー 責任者 津田真由美

価格、数量等細かく決めることが多く、正直不安もありましたが、皆さんには手際よくこなしていただき感謝いたします。

親を学び伝える学習プログラム



小矢部市PTA連絡協議会 稲葉光代先生

毎年恒例の『親を学び伝える学習プログラム』がランチルームにおいて開催されました。

講師をお招きし、思春期を迎えた子供に対し、「どのように向き合っているのか」「やる気を高める言葉がけは」等について話し合い、楽しい時間を過ごしました。

今回のテーマ 【反抗期の子供と向き合う！】

エピソード

叱る？ 叱らない？

中学3年生の康太は、反抗期のまっ盛り。先日も、母親の些細な注意に腹を立て、母親と口をきかないこと、1週間。

母親は、康太にどう接したらよいのか分からなくなっていました。

そんなある日の夕方、買い物の途中で、康太と友達の姿を見かけました。

2人は、自転車の2人乗りをしています。歩行者や自動車にぶつかりそうになり、周囲の人も迷惑そうに見ています。



【各グループの意見】

Q1. あなたが家人だったら、どうしますか？

- ・その場ですぐ注意する。
- ・家に帰ってきてから注意する。
- ・自分のした行動のダメなところを考えさせる。

【稲葉先生のアドバイス】

- ・良い事も悪い事も親が受け止めてあげる。
- ・自分自身の存在を親が認めてあげる。
- ・親に反発しながら成長し、自立していく。
- ・揺れ動く心を受け止めて親も心が鍛えられる。
- ・保護者同士もコミュニケーションをとり、子供を見守る。

Q2. 反抗期の子供とどう向き合っていけばいいでしょうか？

- ・挨拶、コミュニケーションをとる。
- ・注意と叱る時は、メリハリを付ける。
- ・一人の大人として話合う。(見守る)
- ・しつこく言わない。
- ・家族の時間を長くとる。



第2回保護者登校日の懇談会の大きなテーマは、「反抗期の子供と向き合う」で、テーマは「人に迷惑をかけている自分の子供を見かけました。親のあなたはどうしますか?」でした。

すぐにその場で注意する。家に帰ってきてから注意する。注意の方法は…。注意の内容は…。怒る。促す。理屈で理解させる等。子供との普段からのコミュニケーション、各家庭での教育方針、家庭環境でそれぞれ考え方や理解される方法が異なります。

今回の懇談会は、物事をいろいろな角度から見て、様々なやり方で子供と向き合う方法を学ぶ大変よい機会となりました。

1学年部会長 竹田 正富

行って よかったです! 第2回 保護者登校日



3学年
11月21日(土)

今回の保護者登校日は、先生方及び保護者の負担軽減のため学習参観日に実施させていただきました。高校の受験に向けての流れや各日程、調査書と本試験の点数の関係などの説明を先生に詳しくしていただき、私自身も親として大変参考になりました。生徒も保護者の横で話を聞くことで、自分自身の今後の進路が決まってくる事に対して真剣に耳を傾けていました。

3学年部会長 白井 学

2学年
11月6日(金)

■2年生の近況について
仲間意識が強くなつた
・新人大会では、チームの最高学年として活躍した。
・合唱コンクール、時祭では、自分たちの力で取り組んだ。

■修学旅行について
期間：平成28年4月21日(木)～23日(土)
方面：広島・関西方面
(平和教育、集団活動、キャリア教育の視点から選定)

・目的、方法、進め方の方針についての説明
・残り1年半の中学校生活が大切な時期であると再認識することができました。学校と家庭とが連携して、しっかりとサポートしていきたいと思います。

2学年部会長 丸山 英彦



平成27年度小矢部市教育委員会への要望事項

7月に教育委員会、学校等への要望事項についてのアンケートを実施しました。その内容をまとめ、小矢部市PTA連絡協議会を通じ小矢部市教育委員会に提出しました。

1 学校施設・備品・環境に関することについて

- 放送施設・設備が老朽化しており、避難訓練など防災の視点からこれらの施設・設備を改善してほしい。
- 熱中症対策として音楽室、美術室、特別教室等にエアコンを設置してほしい。

2 通学・防犯・安全に関するこことについて

- 綾子の小矢部郵便局近くの交差点で、近年、交通事故が多発している。押しボタン信号、あるいは横断歩道を設置してほしい。
- アウトレットパーク開業に伴い小矢部市内の交通量が増加している。通学路及びアウトレットパーク付近の歩道整備、防犯強化をしてほしい。



教育委員会の回答

学校の施設・備品・環境については、緊急性の高いものから工事を進めているのが現状です。現校舎は、築30年あまり経過しているため、大規模改修工事を進めていく計画です。

通学路については、本年から通学路交通安全プログラムを策定しました。各要望に対して対策が円滑に進むように、また生徒が安全に通学できるよう学校・PTA・警察署・道路管理者など関係機関が連携を図り、順次実施していきます。

親子清掃

8月30日(日)

今年は雨のため校舎内のみの清掃となりましたが、早朝から大勢の保護者と生徒が参加し、教室や廊下の窓ガラス、蛍光灯など、普段、子供たちだけでは行き届かない箇所を協力し掃除しました。お陰様で、気持ちよく2学期を迎えることができました。



PTA備品購入

今年度、バザー用のテーブルを10台購入しました。



地域の安全・安心は自分たちで守ろう 10月10日(土)

小矢部市子撫・宮島地区 地域安全大会

今年度の地域安全大会が東部小学校で開催されました。石動中学校PTAも会場の準備や受付などの協力をを行い、また、多数の会員が参加されました。

「地域安全宣言」では地域住民が「地域の安全・安心は自分



たちで守る」という意識を高め、「心のふれあいを求める、豊かで安心な町づくり」を合言葉に、安全で安心して暮らせる地区の実現に努力することを誓いました。先月号で特集しましたが、アウトレットパーク開業で子供たちは交通事故や犯罪など不安がありました。しかし、これからもPTAとしても子供たちを見守り安心して暮らせるようにしていきたいです。

また、アトラクションで東部保育所園児、東部小学校児童による演技と、富山県警音楽隊による演奏と防犯の呼びかけなどがありました。



東部小学校4年生の演技

平成27年度 広報部会メンバー 1年間ありがとうございました。

部会長 水上 武司(子撫支部)

副部会長 青嶋 篤(南谷支部)

執行部役員 宇治山由美子(1支部)
稗田 恵子(宮島支部)

部員 檜垣 光夫(1支部)

蓮沼 良則(3支部)

黒田 和成(子撫支部)

本田 晓和(埴生西支部)

福澤 衛(埴生東支部)

南 隆広(埴生東支部)

橋本真美子(3支部)

田中志津江(5支部)

伊藤 智子(埴生西支部)

加賀谷 剛(埴生東支部)

森 由美子(埴生東支部)

細川 美佳(南谷支部)

教員 下村 喜一 藤井 和幸



広報部 編集作業中

編集後記

「子供たちのため」とPTA活動や学校行事に参加するようになり、みなさんにもっと、子供・PTA活動・地域活動を知ってもらえるよう協力し作成しました。是非、皆様の感想やご意見をお寄せください。

広報部会 副部会長 青嶋 篤